

平成25年度学校経営計画表

1 学校の現状

学校番号	94		学校名	茨城県立坂東総合高等学校				課程	全日制			学校長名	福田 洋治			
教頭名	大木 直人									事務(室)長名	沢辺 貞男					
教職員数	教諭	26	養護助教諭	1	常勤講師	5	非常勤講師	5	実習教諭・実習講師・実習助手	5	事務職員	3	技術職員等	6	計	54
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	総合学科	50	55	47	34	43	32			140	121	9				

2 目指す学校像

- (1) 一人一人の生徒を大切に、きめの細かい指導を行う学校。
(2) 一人一人の個性を伸ばし、自己実現を図る学校。
(3) 地域に開かれ、社会に貢献する学校。
(4) よりよい自然環境、生活環境に配慮する学校。

3 現状分析と課題 (数量的な分析を含む)

項目	現状分析	課題
教科指導	生徒間の学力差が比較的大きく、学習意欲にやや差が見られる。個々の理解に応じたきめ細やかな指導により、意欲的に学習に取り組む生徒が増えてきた。	TT授業や習熟度別学習を充実させる。授業参観などの内部研修を充実し、分かる授業の工夫を図る。選択科目の内容を充実させ、生徒の興味関心を引き出す。
生徒指導	全職員による徹底したきめ細やかな指導により服装・頭髪等の乱れは少なくなった。交通事故も減少した。心の悩みを抱える生徒がやや増えている。	公衆道徳やマナー教育、交通安全教育の充実させる。生徒の非行防止教育を徹底する。スクールカウンセラーの十分な活用を図る。
進路指導	明確な目標を持って努力する生徒と就業意識の低い生徒がいる。自分の身につけた知識・技能を将来に活かそうとする意識がやや低い。	厳しい雇用状況の中であるが、就職口の確保と内定率の向上に努める。家庭との緊密な連携を図り、生徒の将来設計に基づく、進学実現を達成する。
特別活動	部活動の参加生徒が少ないため、団体種目の各種大会への出場が少ない。リーダー的存在の生徒が育っていない。	部活動の指導体制を充実させ活性化を図る。生徒会並びにホームルーム活動をとおして、リーダー教育の強化を図る。

4 中期的目標

魅力に溢れ、活力に満ちた学校となり、地域に信頼され、貢献する学校づくりを目指す。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
基礎学力の向上を図る。	① 生徒一人ひとりの能力に応じた分かりやすい授業を展開することにより、各教科・科目の興味・関心を高めるように努める。 ② T T授業や習熟度別授業の充実を図る。
基本的な生活習慣の確立を図る。	③ 規律ある学校生活を送るため、ホームルーム活動や学年集会、学校行事等を通して、正しい判断による自己表現力と豊かな人間関係の醸成を図る。
教育相談の充実を図る。	④ 心の健康を大切にし、生徒の心の悩みを解決するため、教育相談の充実を図る。
特別活動の活性化を図る。	⑤ 部活動に意欲的に参加し、活動が継続できるように顧問教師と部員及び部員相互の望ましい人間関係の醸成に努め、部活動の活性化を図る。 ⑥ HR活動・生徒会活動・学校行事の活性化を図る。
進路指導の充実を図る。	⑦ 人間としての在り方生き方を学び、進路意識を高める。 ⑧ インターンシップを通し、望ましい職業観や労働観を養成し、生徒の進路意識の高揚を図る。
特色ある施設・設備を生かした地域との連携交流の推進を図る。	⑨ 農業関連施設・設備を最大限に生かして、食の安全安心等に関わる特色ある開放講座や体験講座を開設し、地域との連携・交流に努め、地域に貢献するとともに、地域からの信頼を確保する。